

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス山口中央		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童さんが活動するフロアが1つに限られて、把握がしやすい空間である	人員配置を確認し、ミーティング時に死角を作らない配置・対応・行動の情報を伝える	個室が無いので個別対応が必要な時は、パーティションを使いスペース確保を行う
2	各ご利用者様の支援に関する支援材料・対応方法の資料を作成し、常勤・パート・アルバイトの方へ情報漏れが無いよう、誰でも対応可能な環境を設定している。同時に児童さんの最近の様子、気になる事、重要事項に関して、誰でも視覚的に確認出来る様ファイリングをしている	確認する場所、資料を置いてある場所を伝え、確認しやすくしている。又、重要事項に関してLINEを活用し伝達を行う	パート・アルバイトからの情報、やりたいことを吸い上げて、より充実した支援材料・支援に繋げていく
3	土曜日・祝日営業(GW、お盆、長期休暇含む)。同時に、企画を考案し多くの経験・体験出来る様に提示をしている	児童さんの楽しみな企画を聞き繁栄している。クッキングでは、食べたい物を児童さんへ聞いて参考にして実施することがある(お誕生日会等)	同じ企画を月を跨いで実施することもあるので、引き続きマンネリ化を防ぐ企画考案、内容を検討していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会(保護者様が施設へ足を運ぶ機会)が最近行われていない	施設内にて保護者様が、児童さんがどのような活動をして過ごされているのか実際に見て知って頂けていない。参観日のような行事が行われておらず、様子は申し送り、担当者会議での口頭情報しかない	現在、担当者会議の場で施設での様子の写真を持参し、様子の共有を保護者様・相談事業所・学校へ行っている
2	職員の配置数が適切である時、そうでない時の差がある	感染症蔓延の時期もあり、学級・学部・学校閉鎖でのご利用が可能なので、必然的に蔓延してしまう状態が生まれる	学級・学部・学校閉鎖のご利用者様に関してのご理解・ご協力の案内説明を行う
3	ご家族様と施設での連携が上手くいかない時がある	緊急時(体調不良等)連絡が取れない、帰りの送迎時間に保護者様不在の為申し送りが出来ない、連絡帳未読、家庭での情報共有	保護者様へ重々確認を行い、説明をしていく。場合によっては、書面を作成し説明を行う